

# よみがえる文化財

美術品修復の現場から



吉田国際大教授  
鈴木 英治氏

た。普通の場合は、たはそれ以降の資料保存に  
とて近くで仕事をする工 大きな影響を与えまし  
房の人間同士でも、お互  
い。技術の公開やそれ  
◆四つの基本原則  
原則は人によって、あ  
るいは場合によって少し  
違うことにはまずなかつ  
たでしょう。その結果、  
変わってきますが、大体

技術的な問題以外にもた 次の四つにまとめられま  
た。特に修復や保存にお 1 原形（現状）の尊重  
ける原則（理念）の共有 資料によっては用さ

## 「ブレレンツェ発」理念の共有

れている素材や構造、外 は出来ません。したがっ  
観、テクスチャーなども て、現状の変更は可能な  
重要な情報源となる場合 限り抑える必要がありま  
もあります。洋古書では す。  
製本の構造や装飾、使用 2 資料に対して、非破  
素材などは高いオリジナ 壊的であること  
リティーを有しており、 当然のことながら、適  
安直な変更は慎まなけれ 用する処置が資料を害す  
ばなりません。また現在 る恐れのないものでなけ  
は意味がないと思われる ればなりません。処置の  
部分でも、将来の研究の 失敗による資料の破壊な  
発展や、新たな技術の開 とは論外としても、見か  
発により重要な価値を持 けし上は問題のない修復で  
つ可能性を否定すること あっても、使用した素材

や薬剤の経時的な劣化に す。したがって処置前が  
より、資料が書かれる例 どんな状態であったかの  
が少なからずあります。 記録を記述した映像、ある  
修復や保存処置は使用する ものに十分な注意を払  
るものに十分な注意を払 いて、また後に問題が生じ  
る恐れのない技術である ことが必要です。  
3 適用する処置が可逆 的であること  
現在最善と思われる処 置であっても、将来予測  
できなかった問題が発生 したり、何らかの理由で  
戻す必要がある場合に 参考出来るようにする必  
要があります。  
また対象物のどこに 何をしようとするのか、  
何をしようとするのか、よ かり安全にかつ効率的に処  
置を行うことが可能にな  
ります。

処置以前の状態に戻す必 要が生じる可能性があり  
ます。その時、資料に大 きなダメージを与えるこ  
となく、復元可能な処 置や素材を使用しなければ  
なりません。  
4 資料の現状、および 処置の記録化  
たとえばどんなに適切な 修復であれ、資料は多少  
なりともオリジナル性を いう意味を意識化するこ  
とです。



16〜18世紀の書籍の形態 15〜18世紀のヨーロッパの刊本は、原則とし  
て購入者が製本を行ったので、同じ本でも別の形態を持っているとは限ら  
ない。極端すれば同じ形態持った本は存在しないともいえる。表紙の装飾、  
見出しのマーブル紙や構造は時代・地域により異なってくる。また従来の過  
程で遊び紙（戻し紙や白紙のページ）には履歴を示す書き込みなどが加わる  
ことも多く、それら全体が古典的の価値となる。



「再製された16〜18世紀の書籍」写真の本は  
16〜18世紀にヨーロッパで刊行されたものでか  
なりの稀覯本が含まれている。300〜400  
年たち偏んでいたものを図書館から預けられた  
図書館が業者に依頼し製本し直したものを。雑誌  
を合本すると同様の製本が行われ、元の表紙、  
戻し紙の大半が捨てられてしまっている。本文  
も四方が覆われて各ページごとと断裁され、オリ  
ジナルの構造も完全失われていく。残念なこ  
とに、発注した側が仕事を受けた側も古典的の  
持つ価値を全く考慮しなかった例である。

前市長 はずです。でも「未執行  
の失職に 部分を精査する」点を除  
き 伴う津山 くと、候補の主張で、街  
の失職に 市の出直 づくり会社にこれ以上税  
いよいよ明日に迫りまし ています▲今回の選挙  
た。リコール投票の原因 の大きな特徴は、昨年2  
な。リコール投票の原因 の大きな特徴は、昨年2  
ルネ、津山 月後の4町村編入  
支援の経緯と 合併の初期  
課題について の市長選という  
て、佐藤勝記 ことです。行政  
者が3回に及んでリポー 計画の実施について、旧  
ト、4候補の綱領や政策 4町村の約1万7000  
の一端を紹介してしまし 票を、誰が多くなるか  
た▲選挙の発端を考えれ かが焦点の多く獲得し  
ば、当然アルネが争点の ます。【楡山佑二】

